

第3回オークション（2025年度応札）の応札フォーマット（案）に対する意見募集の結果について

| 意見 | 寄せられた御意見の概要  | 御意見に対する考え方  |
|----|--|---|
| 1  | <p>財務モデルは縦に項目が並び、横に時間軸がとられるのが通例であるため、「応札価格算定シート」シートは行と列の考え方を逆にしていただきたい。</p> <p>また、応札フォーマット単体でも上記の点が統一されていないため（「応札価格算定シート」シートと「事前質問」シートとで縦横に並べる要素（項目、時間軸）が逆になっている）、統一いただきたい。</p> <p>上記の点が改善されることでオークションの参加者及び審査者の双方の作業が最適化され、かつ双方の無用な作業を回避できる。</p>  | <p>「応札価格算定シート」シートは監視の際の集計等に用いていることから、「事前質問」シートの行・列と一致させておりません。頂いた御意見につきましては、オークション参加者の御負担も考慮しつつ、次回以降のオークションの際の参考とさせていただきます。</p> |
| 2  | <p>可変費の応札価格算出について、「サマリー」シートと「事前質問」シートでの可変費算出において、「自家消費相当」がダブって控除される仕組みになっていないか。</p> <p>「サマリー」シートでの「応札価格に参入する固定費」の計算は「<math>E = D \times B / (A + B)</math>」で、Aの自家消費分を控除する計算となっている一方で、事前質問での可変費試算においても「想定発電電力量(e)」の注書き（※1）に「発電端ベースで自家消費相当を除いた電力量」となっており、自家消費を除いた発電量を基に下段の「価格差相当額」が計算されているので、この価格差相当額を「サマリー」シートの「対象比率部分の固定費」に参入すると自家消費分が2重に控除されてしまう。</p> | <p>御指摘を踏まえ、応札フォーマットを修正いたしました。</p>   |
| 3  | <p>「サマリー」シートの「3. 契約情報として取り扱う応札価格の内訳」におけるブルーアンモニアとグリーンアンモニアの記載区分について、「事前質問」シートの「可変費（水素・アンモニア）」の③で記載されている水素・アンモニア燃料の内訳については、調達先との契約価格方式に基づき、「原料代/電気代」、「CAPEX」、</p>   | <p>「長期脱炭素電源オークション容量確保契約約款別紙1」の表1で補正式を選択したアンモニアの種別で応札フォーマットの「サマリー」シートも御記載ください。</p>   |

|   |  |   |
|---|--|---|
|   | <p>「OPEX」に各々分類することは可能ですが、「サマリー」シートにはブルーアンモニアとグリーンアンモニアの2区分しか記載欄がない。ブルーアンモニアとグリーンアンモニアの数量があらかじめ決まっておらず数量按分ができない場合、「サマリー」シートにどのように記載すべきか。</p> <p>なお、ブルーアンモニアとグリーンアンモニアが混在する場合でも、燃料費の補正については「長期脱炭素電源オーケション容量確保契約約款別紙1」の表1から何れか1つしか選択できないものと理解している。従って、例えば契約約款表1のブルーアンモニアの補正式を希望するのであれば、「サマリー」シートについてもブルーアンモニアとして記載させていただくのも一案と思料。</p> |   |
| 4 | <p>水素・アンモニア燃料費の算定方法について、これまでの制度検討作業部会における議論状況では、高位発熱量に基づく算定と把握していた。</p> <p>応札フォーマット（案）では、「事前質問」シートの「可変費（水素・アンモニア）」の算定では低位発熱量ベースでの試算であることを確認している。本件については、高位発熱量ではなく低位発熱量にて試算の理解でよいか。</p> <p>また、発電効率について高位発熱量を低位発熱量に置き換える場合の算出方法について確定したものがあるか。</p>   | <p>低位発熱電量に基づいて算定してください。（第104回制度検討作業部会資料3のp16を御参照ください。）高位発熱電量から低位発熱電量への置き換えについては、発電コスト検証数値にて算定をお願いします。</p> <p>第104回制度検討作業部会資料3：</p> <p><a href="https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/jisedai_kiban/system_review/pdf/104_03_00.pdf">https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/jisedai_kiban/system_review/pdf/104_03_00.pdf</a></p> <p>発電コスト検証ワーキンググループ令和7年2月 報告書 資料2 各電源の諸元一覧</p> <p><a href="https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/mitoshi/cost_wg/pdf/cost_wg_20250206_02.pdf">https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/mitoshi/cost_wg/pdf/cost_wg_20250206_02.pdf</a></p> |

上記を踏まえて、「事前質問」シートの195行目の※1の記載を修正しました。

また、第109回総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会制度検討作業部会にて、試運転を行うことで発生する水素・アンモニアの燃料費の一部（LNG・石炭との価格差）やCCSの可変費を応札価格に算入できることとなったため、「事前質問（建設費）」シートの37行目以降に記載欄を追加しました。

※第109回総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会次世代電力・ガス事業基盤構築小委員会制度検討作業部会 資料5：

[https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku\\_gas/jisedai\\_kiban/system\\_review/pdf/109\\_05\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/jisedai_kiban/system_review/pdf/109_05_00.pdf)